

北九州地区労連ニュース

2025年10月号 No. 228

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号

Tel 093-921-0747 Fax093-921-0284

メール k_roren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

ホームページ https://kitakyushu-roren.sakura.ne.jp/

解雇・残業代未払い・パワハラ
あきらめなくて電話して下さい
秘密厳守 労働相談ホットライン
相談無料

TEL093-921-0747

メール k_roren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

大企業の賃上げ責任を追及しよう



北九州地区労連は9月21日、第37回定期大会を男女共同参画センター・ムーブで開催しました。

昨年の定期大会以後、長引く物価高騰の中で私たちは、最低賃金の大幅引き上げと全国一律制度を実現するために①北九州市への要請、②商工会議所との懇談、③北九州共闘・県労連とともに福岡県への要請、④遠賀・岡垣・水巻・芦屋町の議

とストが取り組まれました。

開会あいさつで安達議長は、

「大企業は、空前の利益を上げ金融投機でも巨額の利益を得ている。一方、物価高騰でも賃金は増えず、社会保障の幅は狭くなり自己責任が求められ、将来不安が増大し不満が蓄積され、各国で自国第一主義や排外主義が台頭している。過去の世界大戦を見ても、国民生活をよくしないとろくなことになる。生活を良くする障害は何かを示し、とるべきところから取る、それをけん引するのが労働組合」と述べました。

1年間の経過や運動方針提案後の討論では5人から議案を補強する発言がありました。

争議団の中村議長から、明治学園の永井先生が不当な解雇や不当配転とたたかい職場復帰を勝ち取った報告があり、JAL解雇闘争をたたかう榊原さんからも職場の実態が話されました。

大会に提案された活動経過報告と運動方針、予算決算は出席代議員の賛成で承認または採択され、2025年度の幹事・会計監査候補16名は選挙の結果、全員が信任されました。

【大企業発言】

◆全教北九州

中川代議員

9月9日のOECD報告で、高等教育の私費負担割合が平均29.6%に対し、日本62.5%で家庭の負担が大きく高等教育が受けられない子どもが多いことが分かる。2023年度の学級規模、OECD平均で20.8人に対し、日本は31.7人で加盟国中最大。子どもの活動に関わるゆとりが乏しい。働く教員から言いつと受け持つ子どもが多いことは学習や指導の負担が大きいのに給与は、OECD平均を100万円も下回り教員不足の原因で、OECDは給与水準の上昇が教員不足の解消になると指摘。秋の賃金確定で現場の意見を届け、働きやすい職場に近づきたい。(P2に続く)



雨あがり

「天皇は、いにしえより国をしらすこと悠久であり…国全体が家族のように助け合って暮らす。…これが今も続く日本の國體である。」(因みに、「こくたい」と入力しても一発変換できませんでした!)これを読んだどんなことを感じますか。

これは参政党の「新日本国憲法(構想案)」の前文の一節です。「新」というよりも「旧」大日本帝国憲法を彷彿させる憲法案だと私は思います。

この「憲法」の問題点を解説してくださった仁比聡平参議院議員・弁護士でさえも「しらす」という言葉を初めて知りました」と言うくらい(人権連集会)の古色蒼然とした内容です。是非一度目を通してみてくださ。

今(10/17) 自民党が維新と急接近して政権を維持しようとして躍起になっています、参政党も「自民党と考えるは基本的に同じだ」と支持しかねません。

超タカ派の高市政権が誕生するおそれもありますので、私たちの各分野での運動が益々重要になってきますね。

お互いがんばりましょう!

(大)

◆市職労

重野代議員

8月の自治労連大会へのご協力に感謝。のべ1500人が参加して、参加者の感想も良かった。8月に新体制で組織拡大を大事な課題として、現状の認識と問題提起をし、12月に中間報告を予定。一人ひとりが取りくむものになりたい。福岡の最賃が65円の答申、全労連の運動の成果だが、改定施行が11月16日では1カ月以上も賃金が抑えられてしまう。全国で半数が11月以降で来年3月もある。経済界の圧力とと思うが最賃の改定は国が補償すべき。秋闘で職員の労働条件改善に向けたたかう。



◆健和会労組

中村代議員

大企業の春闘5%、最賃改定6%だが、健和会常勤職員1.82%の改定。医労連の賃上げ率はペアを含んで2.07%。労災病院は0.5カ月以上のホ

ーナスカットがあり公的病院で賃下げも生じている。原因は昨年の診療報酬改定による医療機関の経営悪化。昨年の倒産は64件と2000年以降最大。健和会病院は救急を受け入れているが、昨年度8500台から6000台以上増えているのに利益が上がらない。同じことが全国の救急・急性期医療で起こっている。公定価格の低さから医師や看護師不足も招いている。医療危機を打開するため自公と補完勢力が掲げる「自己責任」の政策を変える必要がある。請願署名や運動で世論を喚起したい。



◆健和会労組

中山代議員

9条の碑建立の取り組みについて報告する。健和会大手町病院が2022年に新築移転、旧病院の空き地利用で一部が「九条ひろば」に生まれ変わった。病院の一部は旧陸軍の軍事工場だった。昨年7月に「北九州市に9条の碑をつくる会」が

結成され、地域の諸団体のみなさんがメンバーに入り、前田憲徳弁護士が会長に。400万円を募金目標に、個人・企業・団体を667件471万円と目標を上回る到達。デザインは大手町リハ病院職員のもの採り添うハートのシルエットで、未来に続く意味を込めた」とものとなり、5月3日に除幕式を迎えた。8月26日の総会では、「つくる会」から「9条の碑とあゆむ会」と改めました。健和会労組は平和運動に引き続き関わります。



◆JMITU

香川代議員

8月15日から17日にかけて第30回平和のための戦争展に取り組んだ。NHKとRKBが取材・放映し、毎日新聞も記事にしてくれ700人を超える人が来て、パンフレットが無くなるほど盛況だった。マス

コミとどうかかわるか研究が必要と思った。若い人がたくさん来て、「日本の加害責任を初めて知った」の感想。長生炭鉱の被害の実態が報道されたが、紙芝居で強制的な人集めなど分かりやすく話したことも好評だった。労働運動として平和を考える取り組みを強めていければと感じた。



◆争議団共闘

中村議長

明治学園の永井先生が不当解雇を撤回させ、不当な強制異動も撤回して、4月から教壇に戻ったことは大きな成果。JALの解雇は、15年前の12月31日に会社が更生計画を達成していたのに解雇したもの。国土交通省の関与もあり、たしか労組をつぶす目的で国鉄労組つぶしと同じであった。争議団に会社から雇用のない解雇案が出され、納得できないとたたかいを続けている。

◆JAL闘争団

神原さん

中村さんの言う通りで職場復帰を求めたい。近況、国際線乗務員の飲酒問題がただされている。海外では時差がある。操縦士は時差ボケをなくすために時間がいるが、フライトの間隔が近いと昼から睡眠をとっても寝られず飲酒で無理に寝ることがある。それで常務前のアルコール検査で引っかかることがある。会社側は一律に飲酒を禁止するだけで、乗務員の勤務環境の背景に向き合っていない。会社側が乗務員に十分なインターバルを取らせることが大事なのに報道されていない。こうしたことも声を上げたい。



すべての水俣病被害者救済を

9月17日ミナマタ第二次熊本訴訟の控訴審第1回口頭弁論が福岡高裁で13時半から開催されました。

2023年9月から続くノーマミナマタ第二次訴訟の熊本・新潟・東京の地裁判決は、現行の公害被害者健康保障法では、救済されない水俣病患者の存在を明らかにしました。水俣病が公式確認されて70年を迎えようとしています。被害者救済は決して遠い昔の話ではなく、今を生きる私たちの重要な政治課題です。

原告の平均年齢は、75歳を超え、この11年間に約300人の原告が亡くなりました。これ以上裁判を長引かせることは、人道上許されません。熊本地裁では、水俣病と認めても除斥期間で救済を認められないとされました。

寺内弁護士は、福岡高裁での意見陳述の要点を裁判後の報告集会で3点を強調しました。公式確認から70年たつが、水俣病と分からなかったことや水俣病と診断されなかった事、差別や偏見があり、声を出せなかったことなどあり、①除斥期間、②こちら側の疫学の信用性・診断基準、③共通診断書を認めさせるための遅延性、が

争点と話されました。

不知火患者会からは、「今日、チッソは十分保証したようなことを言ったが、水俣病を起こしたのは誰か。チッソが起し、未だに被害が続いている。補償協定を結びチッソが患者を掘り起こすことも書いている」とチッソや国の行政認定で救済したとの態度に怒りをもつて話されました。

2009年の水俣病患者者特別措置法により、約7万人が救済されましたが、行政の被害者切り捨て政策で年代や地域による線引き・審査の合理性や公平性、申請期間・不服審査などの課題は、解決していません。

この日は、北九州地区労連として参加を呼びかけました。引き続き、早期の救済を求め運動します。



学校給食無償化が前進

9月20日「学校給食無償化の実現へ」これまでとこれからと題して運動の報告集会が八幡西生涯学習センターで開催されました。

学校給食の無償化をめざす会を結成して3年たちます。長引くコロナ禍、そして物価高騰で「生活が大変」という声に比べ、全国で学校給食無償化の自治体が少しずつ増えています。北九州市では、給食への異物混入でなど老朽化した施設・設備の問題が明らかになりました。

会結成後、情報提供があり、発覚した水道からの鉄さび問題は、市議会に取り上げられ、実態調査と改修工事が実現しました。特別支援校以外を民間委託してきた北九州市の学校給食ですが、調理員不足で4月からの給食提供に支障が出そうになることもありました。

そうした活動を事務局の宮崎さんは、面白おかしく講談のように報告しました。

武内市長は、当初「新たな財源として31億円以上が必要であり、限られた財源で市独自の無償化は困難」としていましたが、約25000筆の個人署名と250団体の賛同署名が市議会に提出され、市長・教育長に繰り返し要請する中、今年

2月の市議会で「令和8年度無償化をめざす」と表明しました。

「市民の声が力だった」とは、市長自ら無償化の表明後に報道に語ったことです。

国も無償化の検討はしているようですが、石破首相は退陣に追い込まれ宙に浮いた状況です。武内市長は、9月議会で補正予算について、学校給食費について、「長引く物価高のなか、進学等で、学用品費等の出費が増額する市立の小学校6年生及び中学校3年生の学校給食費の保護者負担額免除に要する費用」として、1億7千万円を予算提示しました。

これは、無償化への一歩前進ですが、めざす会が訴えてきたように、学校給食は食育であり教育であることから「義務教育は無償」とした憲法に照らし、すべての義務教育の学校給食が無償が必要だと訴えています。

その学年だけを免除することとは、格差・差別を生むことになりません。

永井祐市議会議員の議会報告のあと、次々と発言があり、会として①給食は食育であり教育。無償化に必要な予算は、全体の0.5%。無償化をしている自治体もだいたい予算の0.5%であり優先順位を変えるのとで可能。学年で無償ということは差別。教育に差別があ

ってはいけません。市独自で無償化実現を早急に。②市長の表明は市民との約束。無償化を必ず実行する事。③地元の農産物を取り入れて栄養ある給食を。有機栽培農家に支援をし、無償化と共に質の向上もセットで、と3点にまとめ市長に届ける運動をさらに強めようと参加者全体で確認しました。



労働法コラム 第127

出産・育児期の働き方整備



黒崎合同法律事務所

溝口 史子 弁護士

労働者が、育児休業後に復職した後、育児や介護と仕事を両立できるよう、働き方を柔軟にする目的で、育児・介護休業法が改正されました。今年の4月1日から段階的に施行されています。今回は、育児期の働き方についてどのような選択肢が増えたのか、主なものを紹介します。

1 子の看護等休暇の対象・取得事由の拡大

子の看護休暇は、子の傷病の世話や予防のため、年5日（子が2人以上のときは10日）まで取得できる休暇制度です。

これまで、子の看護休暇は、子が小学校に就学するま

での期間に限り、子の病気やけが、予防接種や健康診断のためにしか取得することができませんでした。

4月1日から、この休暇制度は子の看護「等」休暇と名称を変え、子が小学校3年生を修了するまで取得できるようになり、取得事由もこれまでの事由に感染症に伴う学級閉鎖、入園（入学）式、卒園式の場合が追加され、拡大されました。

2 所定外労働の制限（残業免除）の対象拡大

これまで、所定外労働（残業）の免除を請求することができたのは、3歳未満の子を育てる労働者だけでした。

4月1日からは、残業免除の請求権者が小学校就学前の子を育てる労働者に拡大されています。

3 柔軟な働き方に関するメニューの拡大

これまで、3歳未満の子を養育する労働者は、除外事由（就業1年未満、そもそも1日の所定労働時間6時間以下等）に当たらない限り、短時間勤務制度（1日の所定労働時間を6時間とする制度）を利用することができました。

これに加え、今回の制度改正により、10月1日から、使用者は、小学校就学までの



子を養育する労働者に対し、

①フレックスタイム制・時差出勤制度、②テレワーク等（1か月あたり10日以上）、③保育施設の設置運営等、④養育両立支援休暇（1年あたり10日以上）、⑤短時間勤務制度の中から2つ以上の措置を講じ、労働者に1つを選択して利用させる

義務を負うことになりました。現実的には、業務の内容により②テレワーク等の措置を講じることができなかったり、使用者の事業規模により③保育施設の設置運営等が困難であったりすることもあるでしょうが、使用者と労働者の協議により、これまでもより柔軟な働き方を選択できる余地が増えました。

今回の表題の本は、読者の中にはすでにその本なら読んだ。映画化されたものをDVDで観たと思われる方が多いかもしれない。筆者は最近DVDを再度借りて観てのおすすです。

★映画と読書のすゝめ

川口 俊和
「コーヒーが冷めないうちに」
(サンマーク出版)

物語のあらすじ「親のない20代の女性・時田数（かず）と叔父が営む古い喫茶店。この喫茶店の特定の席に座ると過去にタイムスリップできるとの都市伝説がある。その伝説を聞きつけて店の常連になる大学生の新谷亮介。しかしタイムスリップするには複雑なルールがあった。」2015年に刊行され、本屋大賞で45万部も売り上げたとなつた。有村架純主演の映画ともなっている。調べるとハリウッド映画化。世界320万部のベストセラー。シリーズもあり、2024年9月には、第6作まで発売されている。あらすじ「」に書いた「複雑なルール」めんどくさいルールとあり、どんなものかも興味がわく。映画の手法で「タイムスリップ」する手法もおもしろい。いささか、独断で挑発きみですが、心温まる作品です。

戦争するな！戦争準備もするな！

11・3北九州集会



★と き 11月3日（月・祝）
14時～

集会後 JR 小倉駅までデモ行進

★ところ 勝山公園（図書館近横広場）

皆様の参加をお願いいたします。